

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
65	2007/04/18	70065	日本臓器製薬	抗ヒトTリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、 ニュージ ランド	製造工程	無	無	無			
66	2007/04/18	70066	日本臓器製薬	抗ヒトTリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ウシ乳児血清	ウシ血液	米国、 ニュージ ランド	製造工程	無	無	無			
67	2007/04/19	70067	日本化薬	BOG・コンノート株	乾燥BOG膀胱内用(コンノート株)	牛型結核菌 生菌	カナダ	有効成分	無	無	無			
68	2007/04/20	70068	持田製薬	インターフェロン ベータ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・ 製造工程	有	無	無	ウイルス感染	CBS News/ Healthwatch 2006 年8月22日	中国Hunan省中部のChenzhou市でヒトボカウイルス感染の6症例(全て1歳以下の乳幼児)が報告された。これは新たに同定されたウイルスによる中国での最初の感染例である。
												HIV	asahi.com 健康 2006年9月4日	日本人で初めてHIV2型の感染者が確認された。この男性は過去に西アフリカで輸血を受けたことがあり、このときの輸血が感染源とみられている。厚生労働省は1型だけでなく、2型についても検査体制を徹底するよう通知した。
												マラリア	AABB Weekly Report 2006年9月 15日	2006年9月8日付けのKorea Timesによると、交通事故後に輸血を受け、その後マラリアと診断された患者が、疑わしい血液の流通を防ぐことができなかった韓国赤十字を批判している。韓国赤十字は状況を知らなから、何の行動も起こさず、その結果、不適切な血液製品が流通し続けたとのことである。輸血によるマラリア感染で既に1名の患者が死亡している。
												HHV-8感染	N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338	2000年12月から2001年10月に輸血を受けたウガンダのKampalaの患者1811例のうち、輸血前にヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)血清陰性であった患者991例について追跡調査を行った。そのうち43%(425例)にHHV-8血清陽性血が輸血された。991例中41例にHHV-8セロコンバージョンが起こったが、セロコンバージョンのリスクは陽性血を輸血された患者の方が陰性血を輸血された患者より有意に高かった。